

* 竹田市感染症情報(竹田市独自集計) *

令和8年第28週 (7月6日～7月12日)



新型コロナウイルス感染症が増加しました

今週は4名の報告があり、先週から増加しました。大分県全体では定点あたり10.36人と増加し、流行発生注意報レベル(季節性インフルエンザの基準を準用)に相当します。特に夏場は、エアコン使用時に換気が不十分になることが考えられます。換気扇等での換気ができない場合は、定期的に窓を開けて換気を行いましょう。

ヘルパンギーナ・手足口病は減少しました

ヘルパンギーナは1名、手足口病は2名の報告となり、どちらも先週から減少しています。どちらの感染症も原因となるウイルスが数種類あるため、1度かかったことがあっても、再び感染することがあります。原因となるウイルスはアルコールが効きにくいいため、流水と石けんでこまめに手洗いを行いましょう。また、治った後もしばらく便からウイルスが排泄されるため、感染を広げないようにトイレの後やオムツ処理後の手洗いが重要です。

夏の感染症にも基本の感染症対策が有効です

夏休みやお盆期間中は、旅行や帰省、イベントへの参加などで人と会う機会が増えるシーズンです。夏には、新型コロナウイルス感染症のほかに、いわゆる夏風邪のヘルパンギーナ、手足口病、咽頭結膜熱なども増える傾向があります。基本の感染対策「手洗い・咳エチケット・換気」を心がけましょう。すぐに手を洗えない時は、アルコール消毒も有効です。体調不良時は無理をせずにゆっくり休み、体調を整えるようにしましょう。

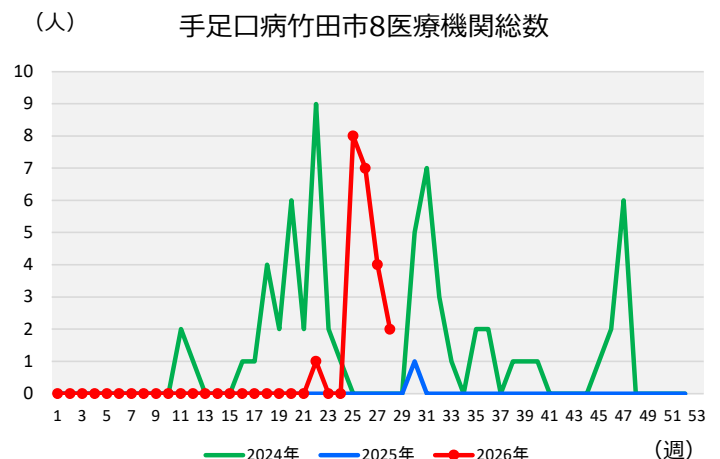
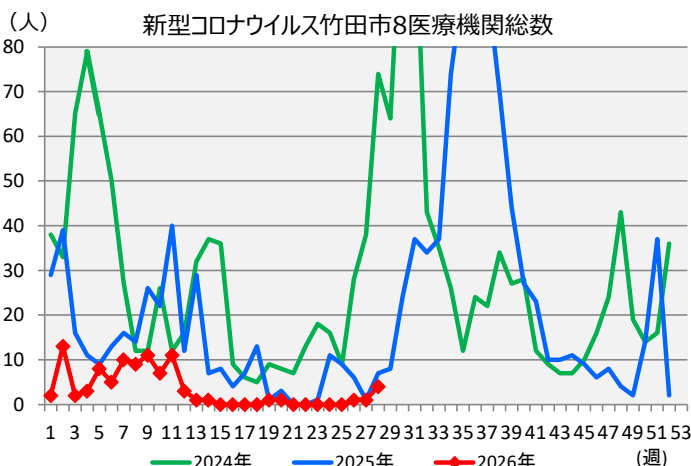
感染症に気をつけて、楽しい夏をお過ごしください。



(第28週)

(調査医療機関8か所の総患者数)

疾患名 年齢	インフルエンザ			新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱(プール熱)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘(みずぼうそう)	手足口病	伝染性紅斑(リンゴ病)	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	マイコプラズマ肺炎	麻しん(全数報告)	風しん(全数報告)	百日咳(全数報告)	つつが虫病(全数報告)
	A型	B型	不明																
0歳																			
1～3歳										1									
4～6歳																			
7～9歳				1						1									
10～14歳													1						
15～19歳																			
20歳以上				3				2											
今週				4				2		2			1						
70歳以上(再掲)																			
先週				1				4		4		1	4						



な つ の か ん せ ん し ょ う た い さ く

夏の感染症対策

へのご協力をお願いします

感染症対策の基本は「手洗い」、マスクの着用を含む「咳エチケット」、「換気」です。

て あ ら し ゅ し し ょ う ど く
手洗い・手指消毒



せ き
咳エチケット



か ん き
換気



帰省等で高齢の方と会ったり、大人数で集まったりする場合は、
感染予防を心がけ体調を整えるようにしましょう。

 厚生労働省

感染症対策課 2026年7月